

補正予算審査特別委員会

◇と き 9月8日

- ◇委員長 稲垣 米子
- ◇副委員長 篠原 有加
- ◇委員数 19人
- (正副議長を除く)

◇審査結果 各会計とも原案可決

各会派の主な質疑(質疑順に掲載)

公明党昭島市議団

質問 マイナンバーカードについて、①コンビニエンスストアの証明書等交付サービスの年度ごとの利用状況は、②普及促進の対策は。

答弁 ①平成28年度が2月、3月で22枚、平成29年度は4月から8月末までで725枚。②庁舎1階の行政情報モニターでの宣伝、待合室の座席の背もたれのポスター掲示、ホームページ等での案内を行っている。今後はイベント等で、写真の撮影サービスを行う予定。

質問 保育士の処遇改善について、①国の処遇改善等加算の内容及び申請の時期は、②都のキャリアアップ補助金の改善内容は。

答弁 ①全職員2%の加算と要件を満たした職員に対して一定の加算をする。現在申請受付をしており、4月にさかのぼって適用になる。②算定に用いる児童1人当たりの月額単価が約2倍に増額となった。

質問 病後児保育事業について、変更点は。

答弁 病児保育の定員を4名から8名へ増やし、対象年齢も0歳へ引き下げる。

質問 郷地町二丁目の用水について、①分岐点より北へ流れる箇所の川底の堆積物を除去した目的と効果は、②分岐点より東へ流れる箇所について、工事の予定は。

答弁 ①水の流れをスムーズにし、排水がより効果的に流れていくと考えている。②雨水が用水に流れる割合が多くなっていることから今後検討していく。

日本共産党昭島市議団

質問 就学援助費について、①認定率が平成25年度以降下がっている理由は、②今回の補正に、来年度入学者の児童・生徒への支給の前倒し分も含まれているのか、③来年度の支給の仕方は。

答弁 ①認定基準は同じで、社会情勢などが背景にあるのではないかと考える。②含まれている。③支給の前倒しについて、導入や検討をしている他市の情報を得ながら、取り組みたい。

質問 保育士の処遇改善について、①都のキャリアアップ補助金や国の処遇改善等加算により、保育士の賃金が上がるのか、②平均経験年数や年齢、賃金など、各園ごとに実態把握すべき、③手当、一時金、基本給アップ等で支給されており、方法は各園に任せられている。④平均経験年数は把握している。賃金は調べないが、どのような方法がとれるか考えたい。

質問 国民健康保険について、来年度から制度が大きく変わるが、都の方針について、報告はないのか。

答弁 当初の想定より都からの情報が遅れている。具体的情報が出てきたときには、速やかに報告する。

自由民主党昭島市議団

質問 中神土地画整理事業における今年度の駅前プロックの展開について、現在の状況は。

答弁 建物移転について、1件契約が完了し、現在、契約に向け3人の方と交渉を進めており、1路線の道路築造完了を目指している。

質問 マイナンバーカードの発行状況及び本年2月1日からスタートしたマイナンバーカードを利用したコンビニエンスストアでの証明書の交付状況は。

答弁 マイナンバーカードは、1万1千323枚となっている。また、8月末現在、住民票が520枚、印鑑登録証明書が319枚、課税・非課税証明書が107枚となっている。

質問 訪問型病後児保育サービスについて、①補助金などの助成制度はあるのか、②市として実施する考えは。

答弁 ①市としての補助金はないが、国・都からの補助制度はある。②病後児保育サービスの年間利用者数が大変少ないことから、課題も含め、今後検討していく必要がある。

質問 多くの子ども達に未来のチャンスを提供できる給付型奨学金について、①原資となる基金が目減りし

ない方策として、ふるさと納税のように、市民からの寄附に返礼品を贈る考えは。

答弁 将来的には児童養護施設の子ども達が大学進学時に活用できる制度にしては、①市外からの寄附にふるさと納税の活用を行っており、市民への返礼は行っていないが、今後検討していく。②より多くの方々

質問 農業用水は、農業以外にも、様々な利用がなされている。今後、大きな自然災害時において、自然水として活用する際、蓋がされ暗渠となっている場所

は使いたらいけないのか。

答弁 用水は、原則的に蓋がない場所が多く、暗渠となっている箇所は道路と交差している部分である。今

質問 臨時財政対策債による借入れについて、①今後の方向性は、②不交付団体となった場合の対応は。

質問 臨時財政対策債による借入れについて、①今後の方向性は、②不交付団体となった場合の対応は。

質問 臨時財政対策債による借入れについて、①今後の方向性は、②不交付団体となった場合の対応は。

予算の補正状況

<b>一般会計(第2・3号)</b>	
当初予算	416億円
前回補正額	3820万円
今回補正額(第2号)	11億4650万円
今回補正額(第3号)	5100万円
予算総額	428億3570万円
<b>国民健康保険特別会計(第1号)</b>	
当初予算	139億9100万円
今回補正額	3億7420万円
予算総額	143億6520万円
<b>介護保険特別会計(第2号)</b>	
当初予算	81億5419万3千円
前回補正額	620万円
今回補正額	2億1925万5千円
予算総額	83億7964万8千円
<b>後期高齢者医療特別会計(第1号)</b>	
当初予算	22億2118万2千円
今回補正額	4089万8千円
予算総額	22億6208万円
<b>下水道事業特別会計(第1号)</b>	
当初予算	24億9313万3千円
今回補正額	4億791万7千円
予算総額	29億105万円
<b>中神土地画整理事業特別会計(第1号)</b>	
当初予算	3億2450万3千円
今回補正額	176万1千円
予算総額	3億2626万4千円

無党派

質問 臨時財政対策債による借入れについて、①今後の方向性は、②不交付団体となった場合の対応は。

みらいネットワーク

質問 臨時財政対策債による借入れについて、①今後の方向性は、②不交付団体となった場合の対応は。

賛成

自由民主党昭島市議団

山本 一彦 議員

急速な少子高齢化や医療の高度化に伴う医療費の増加等により財政運営は、極めて厳しい状況下にある。現状は、一般会計からの多額の赤字繰入により、収支のバランスを取っているが、歳入の確保と歳出の削減に向け、職員一丸となり、徴収率の向上に向け、地道な努力を続けた結果、国保に賛成する。

後期高齢者医療特別会計

反対

日本共産党昭島市議団

荒井 啓行 議員

後期高齢者医療制度は、年齢75歳で線引きし、別の医療制度に強制的に加入させる仕組みであり、発足から医療費負担の痛みを高齢者に押し付けるという制度の基本は変わっていない。保険料は、2年毎に値上げを行いながら運営され、高齢者の負担は、限界を超えており、暮らしを一層おびやかしている。

4面下段へ続く

